

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

**CREATE
LASTING
IMPACT**

持続可能なインパクトを生み出そう

第1734回例会 令和8年7月16日(木)

【会長の時間】

山田 利明

皆さん、こんにちは。75才以上の免許更新という事で、4ヶ月前の誕生日の7月16日の今日ですが、認知症検査がありました。地方庁舎に行って、絵を16枚覚えて、10枚くらい書けないと合格点にはならないのですが、そういう試験をしました。通知が来ると、QRコードが付いていて、スマホで読み取ると、問題が分かります。ABCDのパターンがあって、16個ずつなので64個になります。私は64個を2週間くらい前から見て練習していました。9時20分集合でしたが、30分くらい前に行って、受付は1番でした。パターンはAでした。予想するに2番はBで、3番はCなのではないかと思いました。



住所、氏名をタブレットに書いて、他の事をやった後に、さっきの絵を書きなさいと。書いて行くと、10個目くらいで止まって、それで合格でした。私は1番に終わりました。最後まで残る人は、ヒントを出されるみたいです。それでもダメなら医者に行くようになるようです。合格出来て良かったです。その後、運転技能試験があり、合格すると二つの合格書を持って警察に行くと、免許証が交付される事になります。

ロータリーの事ですが、私が2回目の会長の時の目標は会員数は20名以上として、記念としてハワイへ行きました。今年度の目標という事で、例会を魅力あるものとし、一人一人の人間性を発掘するでした。

当時のメンバーは新井通雄さん、新井剛太郎さん、新井英雄さん、新井康夫さん、萩原繁さん、引間清子さん、小林一夫さん、笠原美江さん、黒沢徳樹さん、宮前英雄さん、長岡さん、佐川さん、杉田さん、高田さんが入会して、畝さんが入会して、会長を務めた山川さんがいて、私がいました。その頃は人数も多少多くて、賑やかでした。名誉会員は山崎さん、山口さんがいました。今はかなりの人が亡くなっています。これが2009年なので、16年前です。当時はこのような状況でした。

【幹事報告】

小埜 和也

1. 地区事務所より
 - ①国際ロータリー脱退クラブについて
 - ②ロータリーリーダーシップ研究会パート1の案内
 - ③世界ポリオデーイベント開催並びにストーリーテリングキャンペーン参加のお願い
 - ④日韓合同会議について
 - ⑤日本-ウクライナ国際共同委員会冊子



先日年度初め地区役員合同会議が東松山の紫雲閣で開催されました。原島ガバナーも退院され、お酒はまだ飲めないと言っておりましたが、力強い所信表明をいただきました。私は国際大会の案内という事でしたが、先日の台湾の国際大会の時に携帯電話を置き忘れるという事件の話をしていただきました。

また、船玉まつりの入場券がありますので、必要な方はお持ちになしてください。

各委員会年度目標発表

クラブ管理運営委員会

畝 徳治会員

(会員増強・公共イメージ・IT推進)

会員増強

1. クラブの冊子を更新し、各種会合の参加者に配布する。
2. 入会候補者がいる可能性の高い団体と交流する機会を作る。
3. 会員見込み者を例会に招待する。
4. 仕事のため、平日に出席し難い会員には、土日開催のセミナーへの出席を促し、ロータリーを理解する機会とする。



公共イメージ

1. 各委員会、各クラブの活動を効果的に発信する。

ホームページの活用

1. ホームページに週報を公開する事で、クラブの活動を外部の人に知らせる。

2. 会員卓話の要約等を公開し、会員自身を外部の人に知ってもらおう。
3. P E L SやC L L Sの状況など、週報に載らない情報も会員の見方で掲載する。

奉仕プロジェクト委員会

(職業奉仕・社会奉仕

国際奉仕・子ども家庭奉仕)

板谷 定美会員



職業奉仕

1. 四つのテストを常に意識するよう例会において唱和する。
2. 例会毎にロータリソング奉仕の理想を斉唱する
3. 職業を通じて、他者のためになる事をする。

社会奉仕

1. 荒川河川敷の清掃活動と継続して実施する。
2. 地域の祭りに協賛する
3. 社会問題として注目されているヤングケアラーについて掘り下げて活動をしていく。

国際奉仕

1. ポリオ撲滅運動に協力する。
2. クラブが参加しやすい事例を紹介して国際奉仕の価値を広く伝えていく。

青少年プロジェクト委員会

(アクト・ライラ委員会・青少年交換委員会)

小林 悟会員



インターアクトクラブ

12～18才の中学、高校生が地元のボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

R Y L A (青少年指導者要請プログラム)

ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人達が新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨きます。

青少年交換

ロータリークラブによる支援の下、15才から19才の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことの出来るプログラムです。

ロータリー財団委員会

小埜 和也会員

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることです。すなわち、ロータリアンが各種の奉仕活動を行うための資金提供に関与することです。



財団の使命を理解し、寄付を継続する。

1. 財団への理解協力を図るため、情報資料

を配付する。

2. 会員一人あたり、年額寄付150ドル以上を実施する。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
7	0	6	0	85.7%

